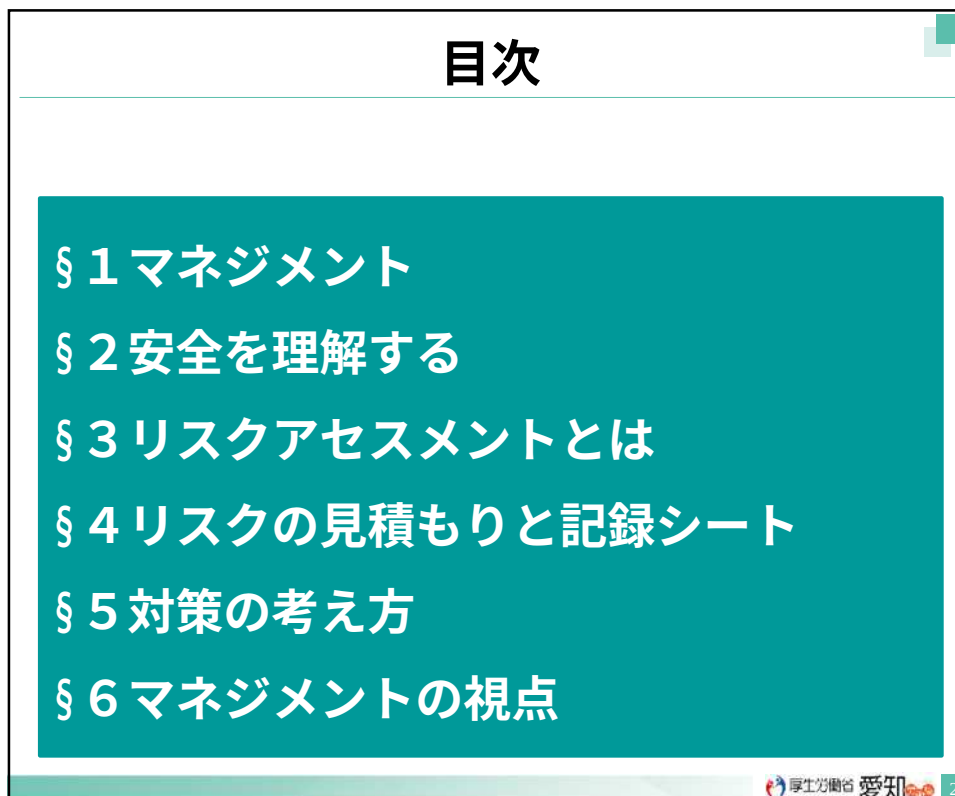




1



2

§ 1 マネジメント 「安全経営あいち®」

3

安全対策から管理

- ・労働災害の防止のためのリスクアセスメントの普及
(効果効率的な安全・危険の把握管理)
- ↓
- ・リスクアセスメント活動そのものを効果効率的に運用するための
「労働安全衛生マネジメントシステム：ISO45001」
- ↓
- ・安全衛生だけでなく活動の運用＝組織の管理運営そのものを考える視点

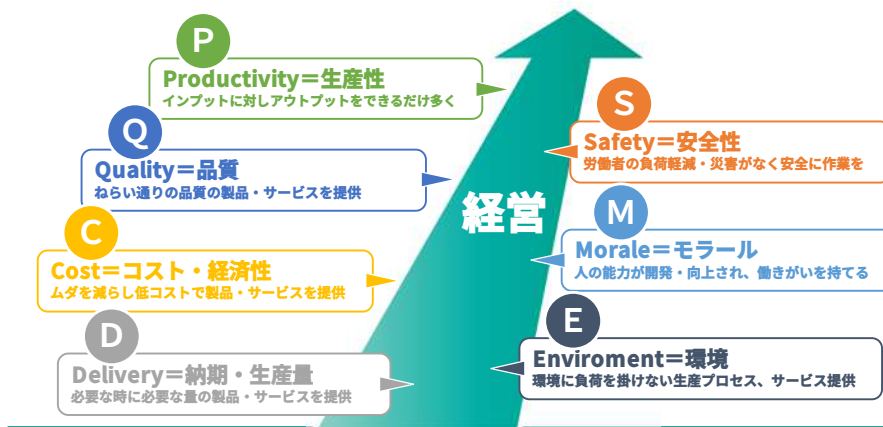


安全経営あいち

リスクアセスメントを通じPQCD&SMEはひとつにできる。

4

PQCDSE は、モノづくりやサービス提供の7つの視点



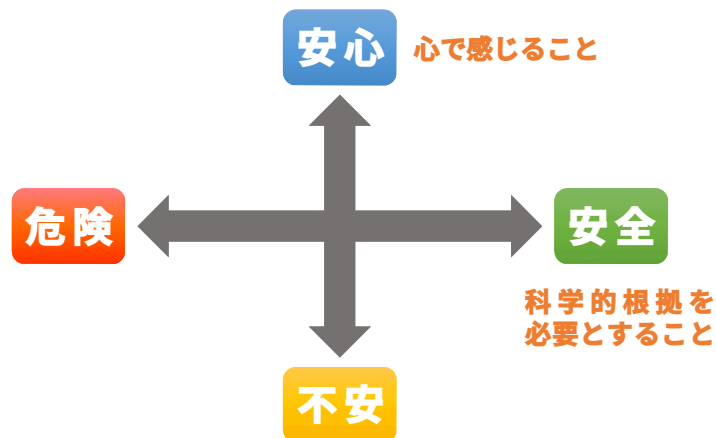
- どの視点も欠かすことはできない。
- どれかひとつだけを重視することもできない。
- 安全も視点の1つ [安全を欠かすことはできない。
安全だけを別に取り扱えない。

§ 2 安全を理解する

日本と欧米の考え方の違い

日本の考え方	欧米の考え方
● 災害は努力すれば2度と起こらないようにできる ● 災害の主原因は人である ● 技術対策より人の対策 ● 管理体制、教育訓練と規制の強化で安全を確保 ● 安全衛生法で、対人および設備の安全化を目指す ● 災害が発生するたびに規制を強化 ● 安全はただである ● 目に見える具体的危険には最低限のコストで対応 ● 見つけた危険をなくす技術 ● 度数率（発生件数）重視	● 災害は努力しても、技術レベルに合わせて必ず起こる ● 災害防止は技術の問題 ● 人の対策よりも技術対策 ● 人は必ず間違いを犯す ● 技術力向上がなければだめ ● 設備の安全化とともに、事故が起きても重大災害にならない技術を開発 ● 災害低減化に関する技術力向上の努力 ● 安全はコストがかかる ● 危険源を洗い出し、リスクを評価し、評価に応じたコストを掛ける ● 論理的に安全を立証する技術 ● 強度率（重大災害）重視

安全と安心



ポイント

- 科学的根拠より感覚が先行しやすい
- 「安心」を「安全」と錯覚されやすい

安全とは

- 広義の安全には衛生を含みます。
- 本解説では、基本的に広義の安全を使用します。

許容できないリスクがないこと

ISO/IECガイド51:2014

許容可能なリスクは含まれている

- ・ リスクの概念の理解が不可欠
- ・ 安全はリスク経由で定義されている
- ・ 安全とは、災害の起きない状態を指していない

リスク（英語）と危険（日本語）

「リスク：RISK」
「ハザード：HAZARD」
「デンジャー：DANGER」
は、まったく別のもの。

だけど、日本語に訳すと
ぜんぶ「危険」???

「リスク」 は **「危険性」** と訳されます。

- 「リスク」「ハザード」「デンジャー」など、様々な単語の中で
- ・ 「リスク」の示す特徴は？
 - ・ 「リスク」とは、いったい何でしょう？

リスクの考え方

リスクという言葉の使用例

- ・ ハイリスク ハイリターンな投資
- ・ ある治療法のリスク
- ・ 自動車で外出する際の交通事故にあうリスク
- ・ 電車で外出する際の交通事故にあうリスク



- ポイント** メリットとデメリットを比較している
- ・ 事前評価する考え方
 - ・ 誰もが日常的に行っている行為

リスクの特徴

- ポイント** 好むと好まざるとにかかわらず、受益に対するリスクが存在する。
- ・ 許容するか否かは価値観であり、別問題。
 - ・ 問題はリスクを意識すらされないこと。

- ポイント** 発生確率と危害の大きさの組み合わせ
- ・ 掛け算で考える

- ポイント** 不確かなもの
- ・ 起きるかもしれないし、起こらないかもしれない

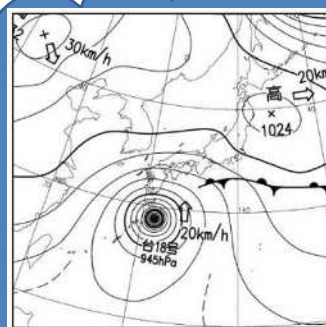
過重労働を減らしましょう... ではない



「リスク」の考え方
とは「事前評価」
↓
「事前評価」とは？

13

台風で帰れない「リスク」



14

「台風のリスク」の「結果」と...

天気予報	行動選択	結果1段階目	結果2段階目
台風が接近中	早く帰宅する	台風が直撃	無事に帰宅
		台風がそれる (直撃しない)	無事に帰宅
	早く帰宅しない	台風がそれる (直撃しない)	無事に帰宅
		台風が直撃	帰宅困難者になる

15

「台風のリスク」の「結果」と...

天気予報	行動選択	結果1段階目	結果2段階目
台風が接近中	早く帰宅する	台風が直撃	無事に帰宅
		台風がそれる (直撃しない)	無事に帰宅
	早く帰宅しない	台風がそれる (直撃しない)	無事に帰宅
		台風が直撃	帰宅困難者になる

リスク(事前評価)とは、
こちら側だけ考える。

ここを「不正解」と考えてしまうのが
間違い。

16

「台風のリスク」

天気予報の精度 (あたり/はずれ) と、予報に基づく行動と結果は別問題。

天気予報	行動選択	結果1段階目	結果2段階目
台風が接近中	早く帰宅する	台風が直撃	無事に帰宅
		台風がそれる (直撃しない)	無事に帰宅
	早く帰宅しない	台風がそれる (直撃しない)	無事に帰宅
		台風が直撃	帰宅困難者になる
台風が接近していない	早く帰宅する	台風が直撃	無事に帰宅
		台風がそれる (直撃しない)	無事に帰宅
	早く帰宅しない	台風が直撃	帰宅困難者になる
		台風がそれる (直撃しない)	無事に帰宅

17

(労働災害の) リスク

リスクの表現は、**大きい**か**小さい**かのみの
リスクの有無を探す物ではない



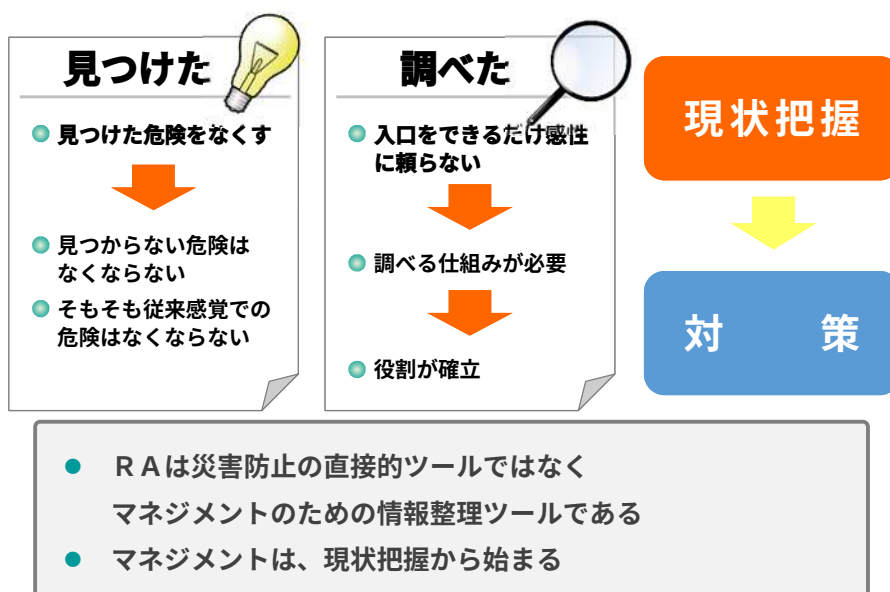
18

安全はリスク経由で定義

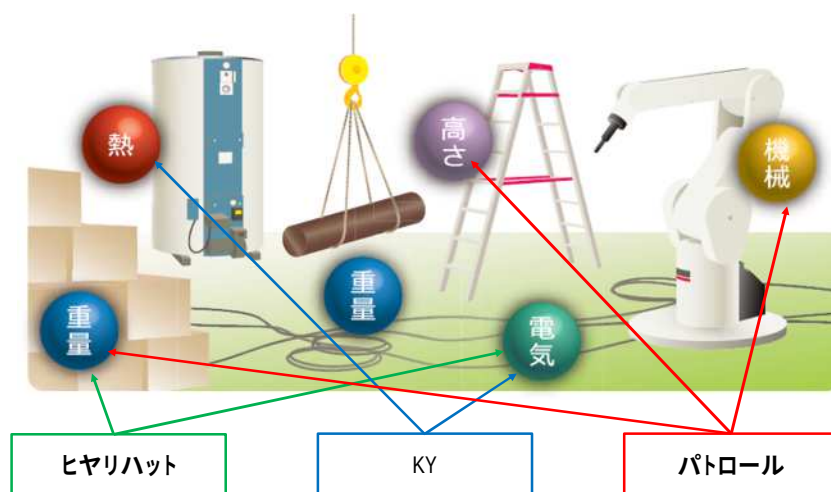


§ 3 リスクセスメントとは

リスクアセスメントの意図すること

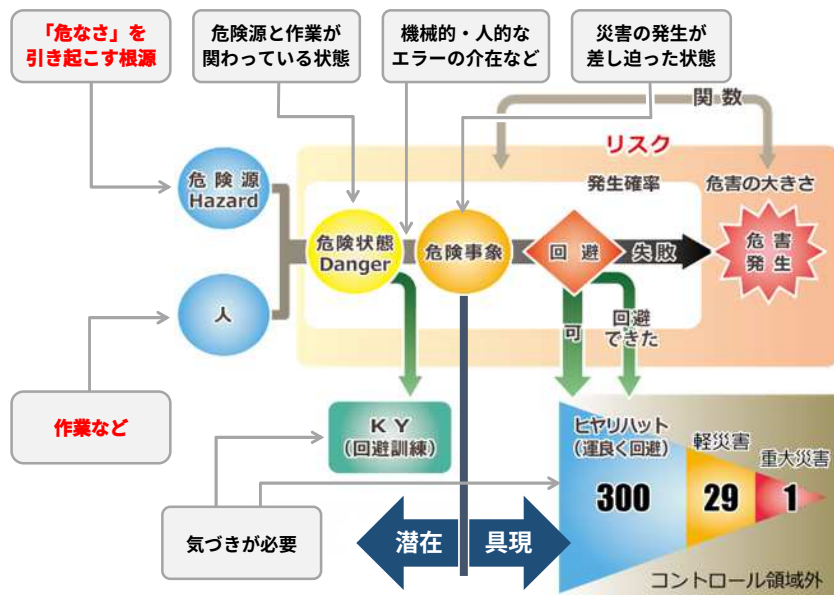


気付きによる調査手法の限界



個人の気づきが情報収集の入口になっているという共通点

災害発生シナリオ



リスクアセスメント手法

網羅的手法：作業を把握する仕組み

科学的手法：対象とする危険源を定める

§ 3 a

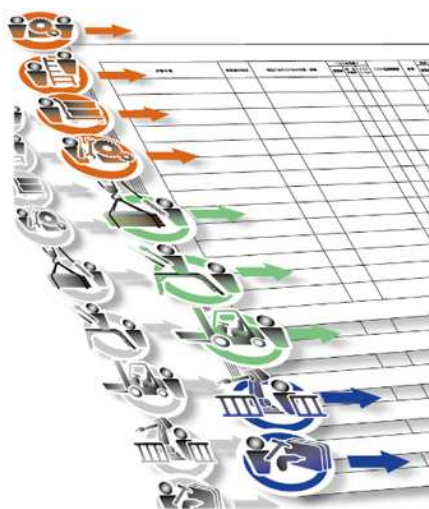
作業を把握する仕組み

ポイント

- 安全専用には作らないこと
- いまある仕組みへの組入れ・連動を考えること

25

仕事を把握する仕組みを構築



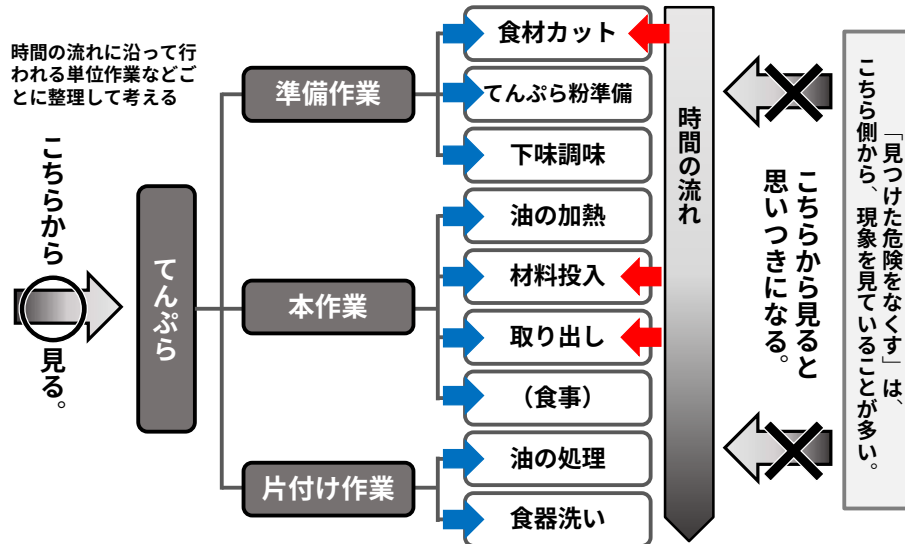
- できるだけ漏れなく記録シートを通過させるように、作業などを整理する。
- そのための考え方を整理し、仕組みを構築すること。

記録シートの書き方や
記録シートそのものの
議論になりやすい

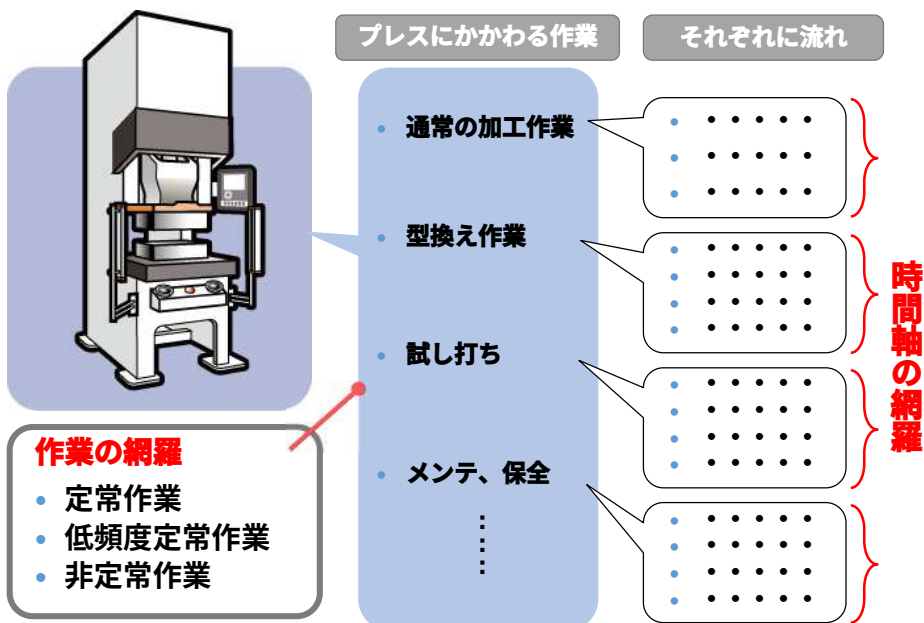
- ✓ リスト化したら何か対策をしなければ
ならないという誤解
（「見つけた危険をなくす」か？）
- ✓ リスト化に点数評価を必須にする誤解
（「やり方」解説書を真似しない）

26

網羅的に（漏れ少なく）作業把握



作業の網羅～どんな作業があるか整理する



§ 3 b

対象とする危険源を定める

ポイント

- 「危ないところ」探しではない
- マップ化することも視野に入れるとよい

29

科学的とは



$$\begin{array}{l} g = 9.8 \text{ m/s}^2 \\ PV = nRT \\ E = MC^2 \end{array}$$

30

科学的なコロッケ



**ミートコロッケが
1個40円以下なら、
8個買ってきて。**



危険源の種類と危害(例)

危険源の種類	引き起こされる危害の具体例
機 械 的	鋭利な端部による切傷や切断、回転要素による巻き込みや引込みや捕捉、可動要素による衝撃や押しつぶし など
電 気 的	充電部との接触による感電、アークによる火傷、静電気など
熱 的	高温による火傷や熱中症、低温による凍傷など
騒 音	聴力喪失、平衡感覚喪失など
振 動	骨関節障害、血管障害、神経疾患など
放 射	レーザーや赤外線による目や皮膚への障害や火傷、低周波による聴覚障害、放射線による悪性腫瘍など
材 料 及 び 物 質	ガスによる窒息や中毒、有害液体やミストによる中毒、粉じんによるじん肺など
滑り、つまずき及 び 墜 落	滑りやつまずきによる転倒、高さなどの影響による墜落や転落など
人 間 工 学 無 視	不自然な姿勢による筋骨格障害、不適切な照明による錯誤、精神的過負荷・負荷不足によるストレスなど

注意：「危険源の種類」欄の各名称の後には、「な危険源」又は「の危険源」の言葉がつきます。
(例) 機械的な危険源、材料及び物質の危険源 など

危険源の種類と危害(例)

危険源の種類	引き起こされる危害の具体例	危険源の定義
機 械 的	鋭利な端部による切傷や切断、回転要素による巻き込みや引込みや捕捉、可動要素による衝撃や押しつぶし など	75N/80W
電 気 的	充電部との接触による感電、アークによる火傷、静電気など	24V
熱 的	高温による火傷や熱中症、低温による凍傷など	60°C/WBGT28°C
騒 音	聴力喪失、平衡感覚喪失など	
振 動	骨関節障害、血管障害、神経疾患など	
放 射	レーザーや赤外線による目や皮膚への障害や火傷、低周波による聴覚障害、放射線による悪性腫瘍など	
材 料 及 び 物 質	ガスによる窒息や中毒、有害液体やミストによる中毒、粉じんによるじん肺など	
滑り、つまずき及 び 墜 落	滑りやつまずきによる転倒、高さなどの影響による墜落や転落など	1m (高さ)
人 間 工 学 無 視	不自然な姿勢による筋骨格障害、不適切な照明による錯誤、精神的過負荷・負荷不足によるストレスなど	20 k g (人力)

注意：「危険源の種類」欄の各名称の後には、「な危険源」又は「の危険源」の言葉がつきます。
(例) 機械的な危険源、材料及び物質の危険源 など

危険源のエネルギーと危害の大きさ

一般的に、危険源のエネルギーの大きさは、
危害の大きさと関係性があることが多い。



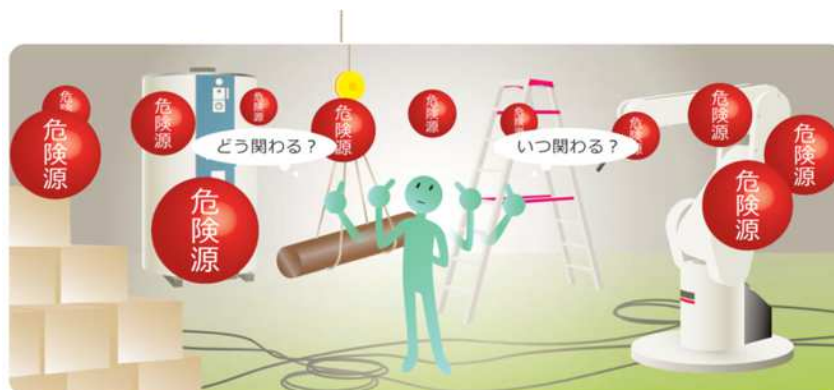
エネルギーの小さい危険源は
あらかじめ除外してよい

危険源の種類と危害(例)

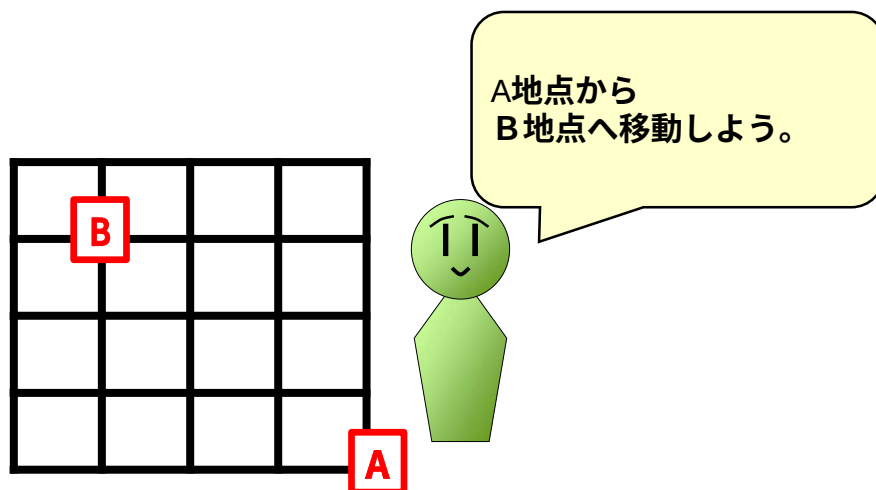
危険源の種類	引き起こされる危害の具体例	危険源の定義
機 械 的	鋭利な端部による切傷や切断、回転要素による巻き込みや引込みや捕捉、可動要素による衝撃や押しつぶし など	75N/80W
電 気 的	充電部との接触による感電、アークによる火傷、静電気など	24V
熱 的	高温による火傷や熱中症、低温による凍傷など	60°C/WBGT28°C
騒 音	聴力喪失、平衡感覚喪失など	
振 動	骨関節障害、血管障害、神経疾患など	
放 射	レーザーや赤外線による目や皮膚への障害や火傷、低周波による聴覚障害、放射線による悪性腫瘍など	
材 料 及 び 物 質	ガスによる窒息や中毒、有害液体やミストによる中毒、粉じんによるじん肺など	
滑り、つまずき及 び 墜 落	滑りやつまずきによる転倒、高さなどの影響による墜落や転落など	1m（高さ）
人 間 工 学 無 視	不自然な姿勢による筋骨格障害、不適切な照明による錯誤、精神的過負荷・負荷不足によるストレスなど	20 k g（人力）

注意：「危険源の種類」欄の各名称の後には、「な危険源」又は「の危険源」の言葉がつきます。
 (例) 機械的な危険源、材料及び物質の危険源 など

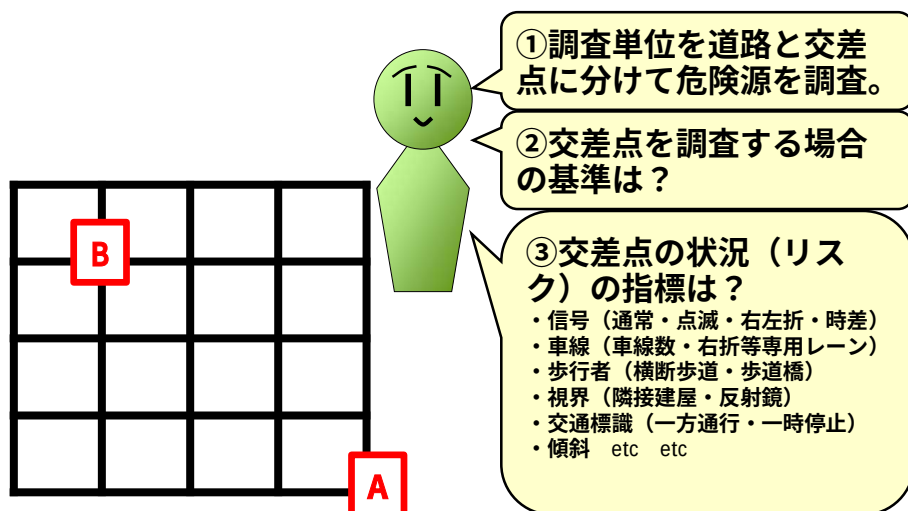
危険源のマップ化



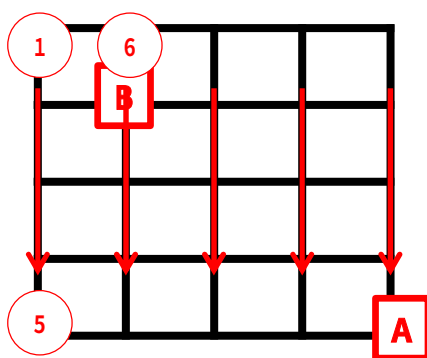
網羅的と科学的なロードマップ？



科学的なロードマップ？



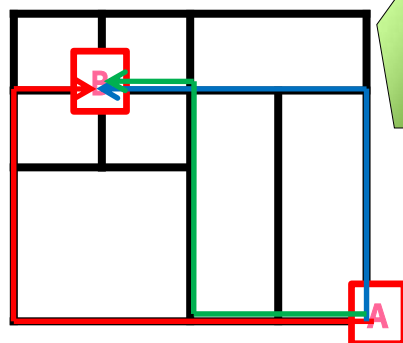
網羅的なロードマップ？①



網羅的にすべての交差点を 1から25まで調査しよう。

当然、交差点への進入方向を個々にすべて調査する。

網羅的なロードマップ？②



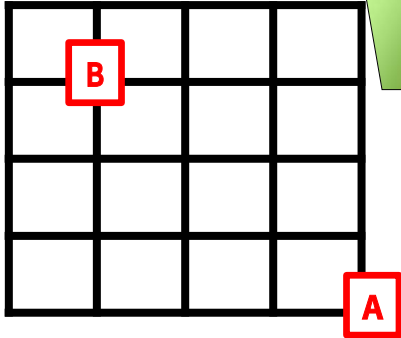
①全ての移動可能なルートを確認。

②行き止まりや一方通行で限定されて、ルートはすべてで●種類。

③●種類のルートについて「交差点」を調査。

網羅的と科学的なロードマップ？

A地点から
B地点へ移動しよう。



「科学的」な調査、
「網羅的」な調査には、
さまざまな「やり方」が
あり、**単一の
「正解」**はない。

移動手段は？
(自動車・バイク・トラック)
移動目的は？
(営業・貨物運送・旅客運送)

すべての条件が同じ事業場が複数ある
わけでないから、個々の「やり方」を
自分で考える必要がある。

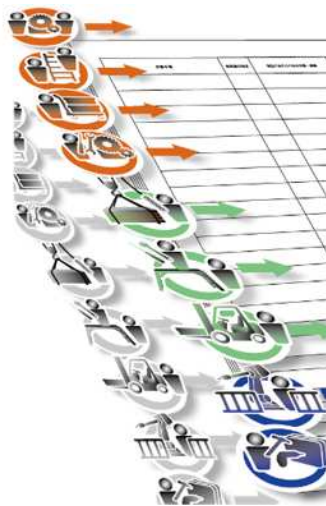
厚生労働省 愛知 41

41

§ 4 リスク見積りと記録シート

42

記録シート

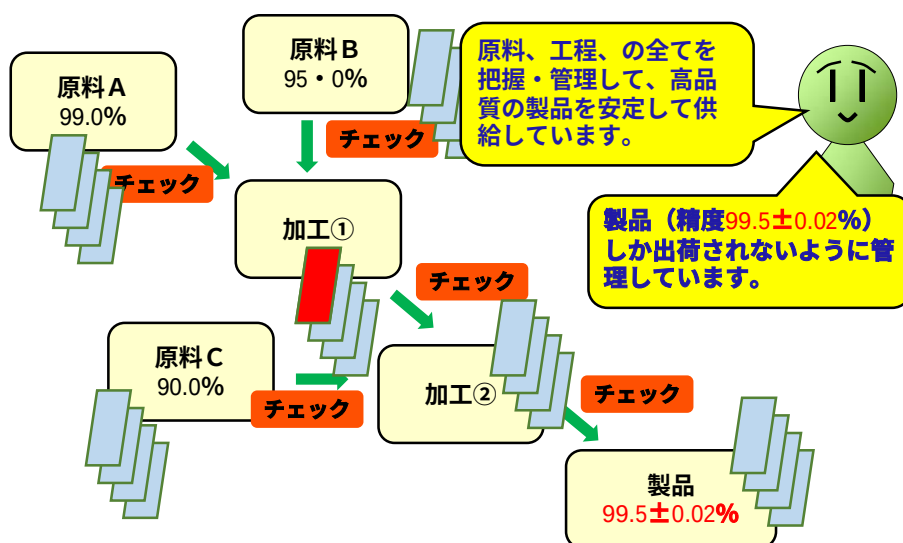


- できるだけ漏れなく記録シートを通過させるように、作業などを整理する。
- そのための考え方を整理し、仕組みを構築すること。

記録シートの書き方や
記録シートそのものの
議論になりやすい

- ✓ リスト化したら何か対策をしなければ
ならないという誤解
(「見つけた危険をなくす」か?)
- ✓ リスト化に点数評価を必須にする誤解
(「やり方」解説書を真似しない)

記録シートの前に



記録シートの前に

危険源の種類	引き起こされる危害の具体例	危険源の定義
機 械 的	鋭利な端部による切傷や切断、回転要素による巻き込みや引込みや捕捉、可動要素による衝撃や押しつぶし など	75N/80W
電 気 的	充電部との接触による感電、アークによる火傷、静電気など	24V
熱 的	高温による火傷や熱中症、低温による凍傷など	60°C/WBGT28°C
騒 音	聴力喪失、平衡感覚喪失など	
振 動	骨関節障害、血管障害、神経疾患など	
放 射	レーザーや赤外線による目や皮膚への障害や火傷、低周波による聴覚障害、放射線による悪性腫瘍など	
材 料 及 び 物 質	ガスによる窒息や中毒、有害液体やミストによる中毒、粉じんによるじん肺など	
滑り、つまずき及 び 墜 落	滑りやつまずきによる転倒、高さなどの影響による墜落や転落など	1m（高さ）
人 間 工 学 無 視	不自然な姿勢による筋骨格障害、不適切な照明による錯誤、精神的過負荷・負荷不足によるストレスなど	20 k g（人力）

注意：「危険源の種類」欄の各名称の後には、「な危険源」又は「の危険源」の言葉がつきます。
（例）機械的な危険源、材料及び物質の危険源 など

記録シート

作業手順	危険源	状況	リスク判定	リスク低減措置	リスク判定	その他対応	確認
設備電源を投入し、主原料を投入	重量	500kg動力運搬	許可	危険源低下	状況低下		
予熱装置を起動	高温（60°C以上）	設備内（接触不可）80°C	許可				
	高温（60°C以上）	設備外の導入配管120°C	不許可		断熱材保護	許可	
攪拌機を起動	機械動力	設備内（接触不可）	許可				
投入口を動力で開放	機械動力	作業範囲内	不許可		保護カバー	許可	
	高さ（1m以上）装置内部へ	投入口サイズ（30cm×30cm）	許可				
	高さ（1m以上）作業床から地上床	地上床から3m	不許可		手すり	許可	
原料リフトを上昇	機械動力	作業範囲内	不許可		エリアセンサー	許可	
	高さ（1m以上）リフト用開口部	地上床から3m	不許可		手すり	許可	
	重量	200kg動力運搬	許可				
原料Aを投入	重量	50kg人力	不許可	10kg×5回人力		許可	
原料Bを投入	重量	1kg人力	許可				
原料Cを投入	重量	0.1kg人力	許可				
	高温（60°C以上）	手作業（接触）60°C	許可		作業服	許可	
以下つづく							

（工程の網羅化と同様に）
（作業手順を）網羅化＝
見落としが少ない手法

記録シートの正体

危険源を調査
 ×「人間」が「●●する」
 ◎「危険源」が「人を害する」

作業手順	危険源	状況	リスク判定	リスク低減措置	その他対応	確認
設備電源を投入し、主原料を投入	重量	500kg動力運搬	許可	危険源低下	状況低下	リスク判定
予熱装置を起動	高温（60℃以上）	設備内（接触不可）80℃	許可			
	高温（60℃以上）	設備外の導入配管120℃	不許可	断熱材保護	許可	
攪拌機を起動	機械動力	設備内（接触不可）	許可			
投入口を動力で開放	機械動力	作業範囲内	不許可	保護カバー	許可	
	高さ（1m以上）装置内部へ	投入口サイズ（30cm×30cm）	許可			
	高さ（1m以上）作業床から地上床	地上床から3m	不許可	手すり	許可	
原料リフトを上昇	機械動力	作業範囲内	不許可	エリアセンサー	許可	
	高さ（1m以上）リフト用開口部	地上床から3m	不許可	手すり	許可	
	重量	200kg動力運搬	許可			
原料Aを投入	重量	50kg人力	不許可	10kg×5回人力	許可	
原料Bを投入	重量	1kg人力				
原料Cを投入	重量	0.1kg人力				
以下つづく	高温（60℃以上）	手作業（接触）60℃				

（工程の網羅化と同様に）
 （作業手順を）網羅化＝
 見落としが少ない手法

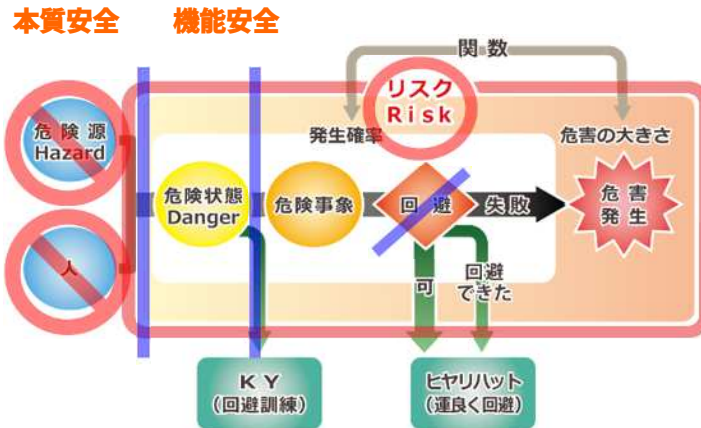
「危険状態」＝通常の作業状態を調査しているので、
 大部分は白紙になる。

- ・ 許容できる危険状態であることを並べる。
- ・ 許容できる危険状態であることを証明している。
- ・ 安全であることを自己立証する。

§ 5 対策の考え方

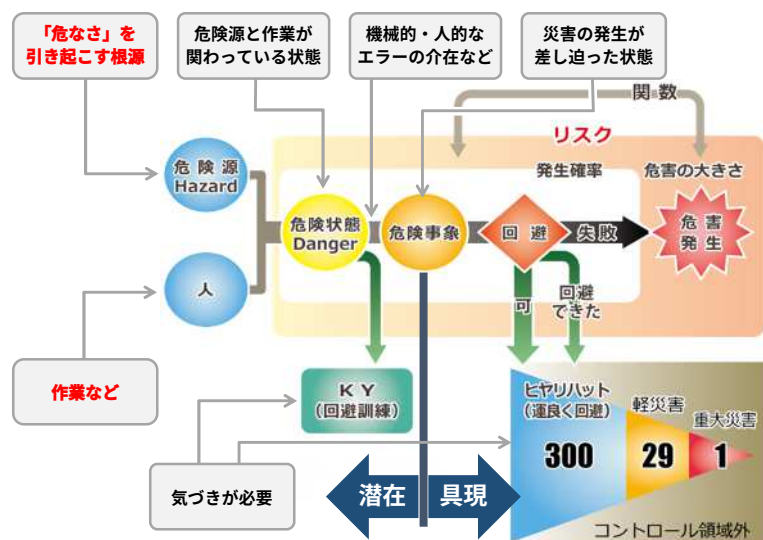
対策も災害発生シナリオで

↓（「事故の起きない」との誤解が多い）

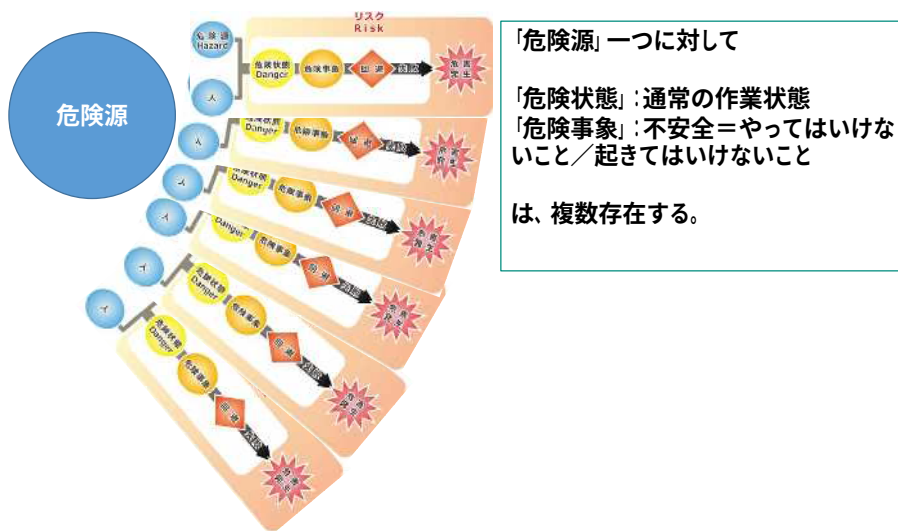


リスクは残留している

災害発生シナリオ



災害発生シナリオと危険源



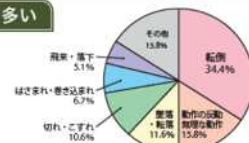
51

閑話：三次産業（小売業）の安全衛生「管理」を考える例



小売業では、転倒災害が最も多い

平成25年、小売業の死傷災害を事故の型別みると、「転倒」(34.4%)が最も多く、次いで、「動作の反動・無理な動作」(15.8%)、「墮落・転落」(11.6%)、「切れ・こすれ」(10.6%)の順に多く発生しています。



小売業の死傷災害発生状況(事故の型別H25)

これが勘違い

52

閑話：三次産業（小売業）の安全衛生「管理」を考える例

入荷→在庫管理→**陳列**→販売（**商品選択・移動**）→販売（会計）→**出荷**

仕生通スーパー

課題

仕生通スーパーは、多種多様な商品を扱うスーパーマーケットで、商品の種類が非常に多く、在庫管理が難しい。また、商品の陳列も、商品の種類が多いため、陳列の仕方が難しく、商品の陳列の仕方を考える必要がある。

安全対策

・商品の陳列の仕方を考える
・商品の陳列の仕方を考える
・商品の陳列の仕方を考える



生活必需品ストア

課題

生活必需品ストアは、生活必需品を扱うスーパーマーケットで、商品の種類が非常に多く、在庫管理が難しい。また、商品の陳列も、商品の種類が多いため、陳列の仕方が難しく、商品の陳列の仕方を考える必要がある。

安全対策

・商品の陳列の仕方を考える
・商品の陳列の仕方を考える
・商品の陳列の仕方を考える



家電・家具販売店

課題

家電・家具販売店は、家電や家具を扱うスーパーマーケットで、商品の種類が非常に多く、在庫管理が難しい。また、商品の陳列も、商品の種類が多いため、陳列の仕方が難しく、商品の陳列の仕方を考える必要がある。

安全対策

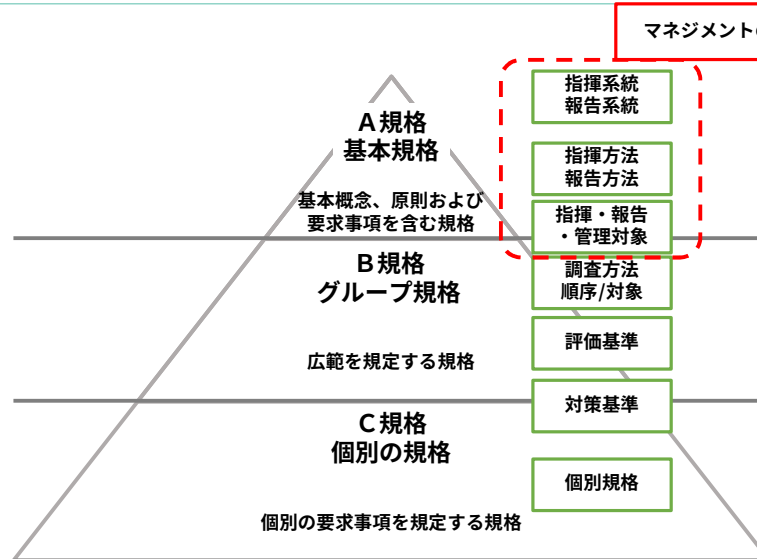
・商品の陳列の仕方を考える
・商品の陳列の仕方を考える
・商品の陳列の仕方を考える



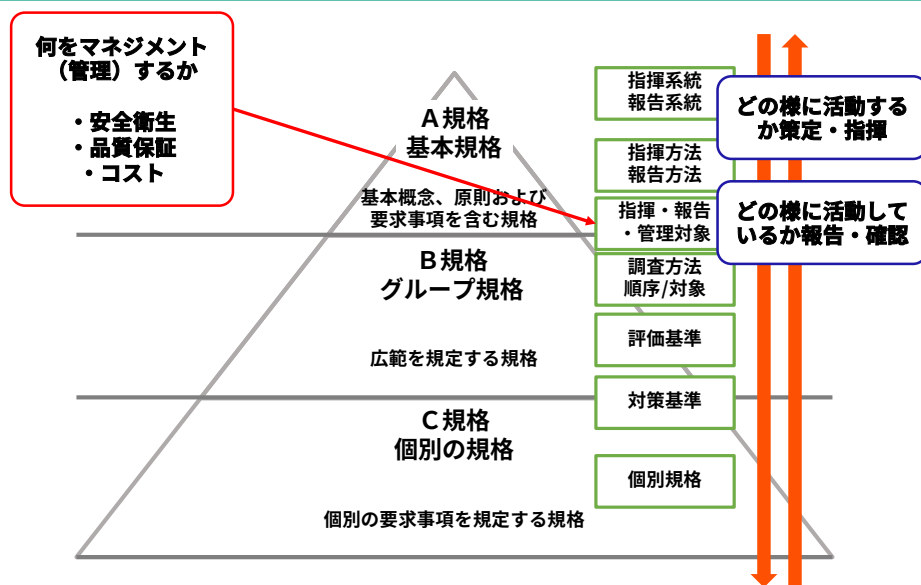
§ 6 マネジメントの視点 「安全経営あいち®」ふたたび

- ・ 仕事、組織、運営の設計＝仕組み（システム）とは
- ・ ISO45001では？

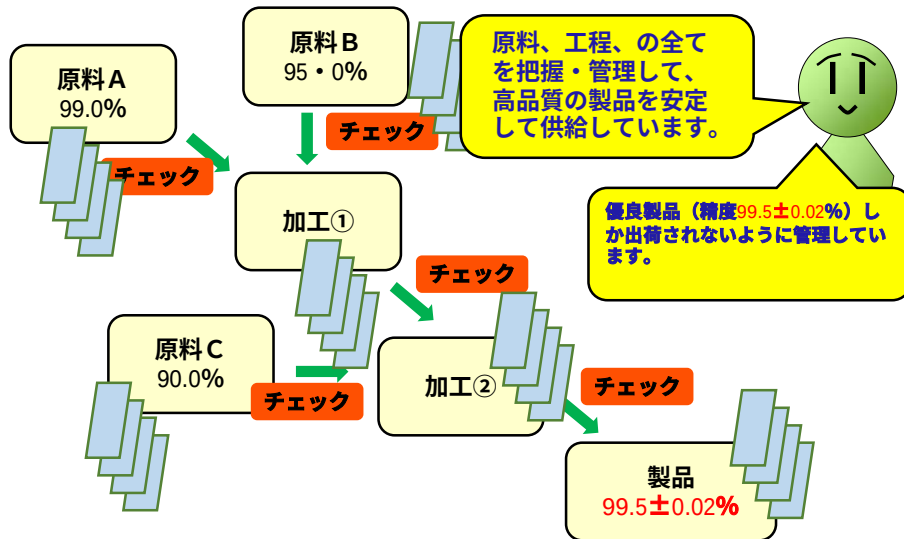
ピラミッド構造の現実



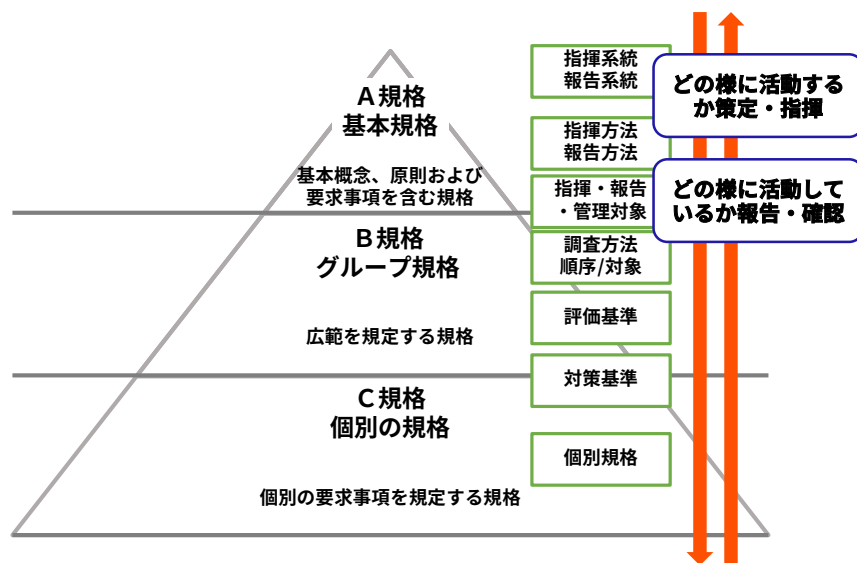
活動の運営＝活動の確認・保証



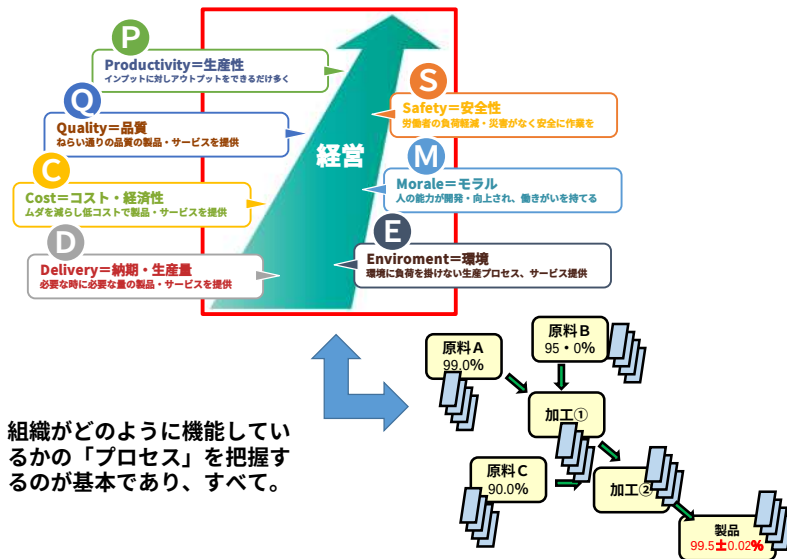
例) 作業を把握して何を管理する



活動の運営＝活動の確認・保証



「マネジメント」と「プロセス」の視点



61

働き方改革とは？



過重労働の防止???

労働時間の短縮???

- 仕事を運営することの「効率化」
- 仕事の「パフォーマンス」を考える
- 仕事の「プロセス」を把握し、「パフォーマンス」を向上させる手法（手順）を考える。

62

■ マネジメントの重要性

- マネジメントは「プロセス」の視点で、効果効率的な運用を考える。

「働き方改革」も「安全経営」も

マネジメントによって、効果効率的に組織を運用することが根本になる。



安全経営あいち

リスクアセスメントを通じPQCDSMEはひとつにできる。

貨物自動車における 荷役作業時にかかる規則改正等

労働安全衛生規則改正内容について

1 昇降設備の設置及び保護帽の着用が必要な貨物自動車の範囲を拡大

現行、最大積載量5トン以上の貨物自動車について、昇降設備の設置義務及び荷役作業を行う労働者に保護帽を着用させる義務が規定されているところ、それらの義務の対象となる貨物自動車を、最大積載量5トン以上の貨物自動車から、**2トン以上のものに拡大**するもの。



昇降設備の例

2 テールゲートリフターによる荷役作業についての特別教育を義務化

荷役作業に使用されるテールゲートリフターは、その構造及び特性に起因する労働災害のリスクが存在するため、その機能や危険性を意識し、安全な作業方法を身に付けた上で作業を行う必要があることから、労働安全衛生法第59条第3項の安全又は衛生のための**特別の教育が必要な業務**として、**テールゲートリフターの操作の業務**（荷役作業を伴うものに限る。）を規定するもの。

3 運転者が運転位置から離れるときの措置の適用除外

テールゲートリフターの操作においては、原動機を動かさなければテールゲートリフターが動かない構造のものも存在することから、運転席とテールゲートリフターの操作位置が異なる場合においては、**逸走防止措置を引き続き義務付けるが、原動機の停止義務については適用除外とすること等とするもの。**

施行/適用期日：令和5年10月1日（2の特別教育の義務化については令和6年2月1日）

65

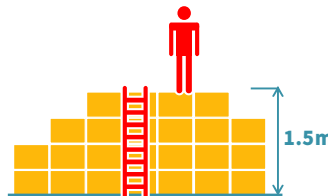
65

1. 昇降設備の設置（安衛則第151条の67関係）（令和5年10月1日施行）

- **2 t以上**の貨物自動車の荷台荷の上面への昇降



- **1.5mを超える**はいの上への昇降



- その他**1.5mを超える**昇降全般

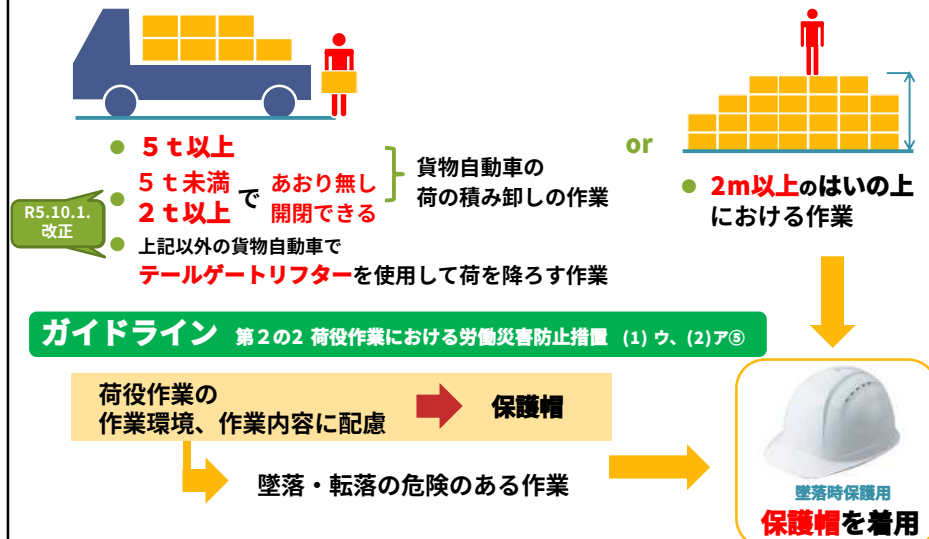
昇降設備を
設置・使用



66

66

2. 保護帽の着用（安衛則第151条の74関係）（令和5年10月1日施行）

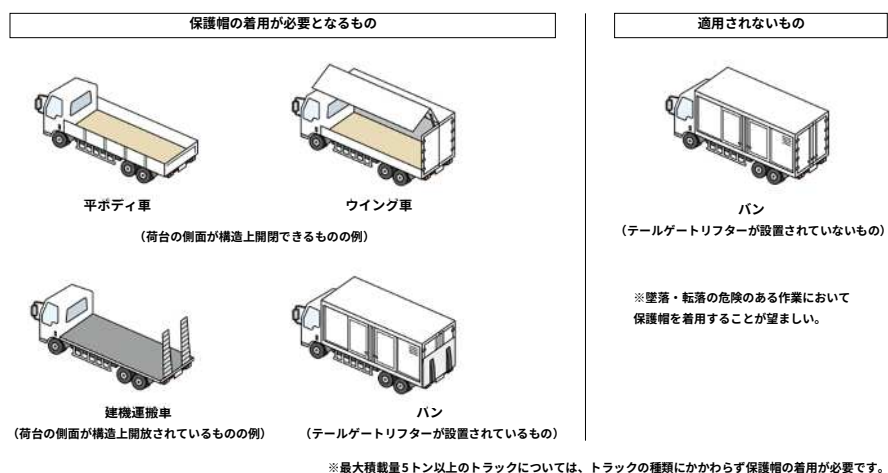


67

67

ポイント：具体的な車両例

新たに保護帽の着用が必要となるトラックの種類（最大積載量2トン以上5トン未満のもの）



68

3. 特別教育（安衛則第36条第5号の4関係）①（令和6年2月1日施行）

特別教育の受講者が操作を行うこと

	科目（テールゲートリフター＝TGL）		時間数
下記以外の者	学科教育	TGLに関する知識	1.5H
		TGLによる作業に関する知識	2H
		関係法令	0.5H
	実技教育	TGLの操作の方法	2H以上
R6.2.1.時点で6か月以上従事歴のある者	学科教育	TGLに関する知識	45M
	実技教育	TGLの操作の方法	1H

69

69

4. 運転位置から離れる場合の措置（安衛則第151条の11関係）（令和5年10月1日施行）

[改正後の労働安全衛生規則（抜粋）] ※赤字が改正部分

（運転位置から離れる場合の措置）

第151条の11 事業者は、車両系荷役運搬機械等の運転者が運転位置から離れるときは、当該運転者に次の措置を講じさせなければならない。ただし、走行のための運転位置と作業装置の運転のための運転位置が異なる貨物自動車を運転する場合であつて、労働者が作業装置の運転のための運転位置において作業装置を運転し、又は運転しようとしている場合は、この限りでない。

- 一 フォーク、ショベル等の荷役装置（テールゲートリフターを除く。）を最低降下位置に置くこと。
- 二 原動機を止め、かつ、停止の状態を保持するためのブレーキを確実にかける等の車両系荷役運搬機械等の逸走を防止する措置を講ずること。

2（略）

3 事業者は、第一項ただし書の場合において、貨物自動車の停止の状態を保持するためのブレーキを確実にかける等の貨物自動車の逸走を防止する措置を講じさせなければならない。

4 貨物自動車の運転者は、第一項ただし書の場合において、前項の措置を講じなければならない。

70

70

5. その他（荷役ガイドラインの改正）

○テールゲートリフター

- テールゲートリフターの操作は特別教育を受講した者に行わせること
- 作業開始前及び定期に点検すること
- いわゆるU字型ロールボックスパレットの積載については、逸走防止措置を確実に講ずること。
- 床下格納式テールゲートリフターは、側部ストッパーに隙間が生じるため、当該隙間から車輪が脱輪しないよう、注意しつつ積載すること。



〔U字型ロールボックスパレット〕
折りたたんで収納する際、ショッピングカートのごとく収納できるよう、前部のキャスターの間隔が後部のキャスターの間隔よりも短くなっている

ロールボックスパレット等による労働災害防止対策

- ロールボックスパレット等を移動させないときは必ずキャスターストッパーを使用すること。キャスターストッパーが備わっていない場合は、歯止め等適切な逸走防止措置を講ずること。
- 不具合があった場合は、所有者又は荷主に報告し、対応を協議すること。
- 最大積載重量を遵守するとともに、偏加重が生じないようにすること。



〔床下格納式テールゲートリフター〕

○荷主等が講ずべき措置

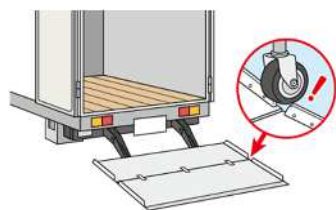
- 荷主等がロールボックスパレット等に荷を積載する場合は、最大積載重量を遵守するとともに、偏加重が生じないようにすること。
- 自身が所有するロールボックスパレットについて、最大積載荷重を表示するとともに、定期的に不具合の有無を点検し、不具合があった場合は、補修するまでの間使用してはならないこと。

71

71

ポイント：その他の留意事項等①

【床下格納式におけるサイドストッパーの隙間についての注意事項】



折り畳み部周辺のサイドストッパーに隙間が生じるので、隙間から車輪が脱輪しないよう、注意してください。

【テールゲートリフターの点検について】 テールゲートリフターについては、安衛則第151条の75に基づき作業開始前に点検を行ってください。（荷役装置の点検）



【点検項目の例】

- ① 正常に動作するか、異音がないか
- ② 部材に亀裂、損傷、変形等がないか
- ③ 油圧系統に接手のゆるみや油漏れ等がないか
- ④ スイッチは正常に動作するか、電気系統に異常はないか

72

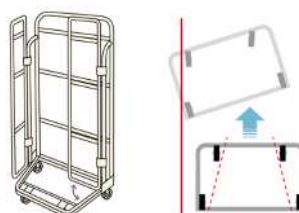
ポイント：その他の留意事項等②

【ロールボックスパレットの不具合を確認したとき】



ロールボックスパレットの不具合を確認した場合は、速やかに所有者又は荷主に報告し、対応を協議してください。

【U字型ロールボックスパレットについて】



短辺側をストッパーに当てると斜め配置になり、転倒や荷崩れにつながるおそれがありますので、逸走防止措置を確実に講じてください。